

## ◆攻撃方法

優先行使度	部位	名称	範囲	ダメージ
6	胴	スクリーム	任意の高度全て	人間性-2
<p>コングのラウドは、最早、咆哮と称するには暴力的過ぎる。その絶叫に対して、ハンターは自らの戦意を維持することを目的としなければならないだろう。この攻撃を受けたハンターは次ラウンド、移動スキルを使用できない。</p>				
1	頭	オール・フォー・ワン	全て	人間性-3
<p>ハンターはその佇まいに霸王の姿を見たか。帯電した肉体に支配者の偉業を見たか。圧倒的な威圧感に自らの敗北を幻視したか。コングと相対するという事実は、それだけで唯只管にハンターの心を折る。この攻撃を受けたハンターは次のラウンド、マテリアルをコストにした攻撃スキルを使用できない。</p>				
2	胴	ビックバンフォース	正面または背面全て	10
<p>巨猿がその硬質化した両手を胸の前に構えた瞬間、大地が悲鳴を立てるように震えた。それは集約されたエネルギーが放射される前触れだ。ゴリラ型にとつての切り札とも言える一撃を受けたが最後、エネルギーの濁流が身を焼きつくし、君の生涯という戦いの系譜は終わりを迎えるだろう。</p>				
4	任意の肩	アイアン・ゴリラ	任意の高度の、左右いずれかのエリア全て	4
<p>その巨体が霊山の如く稲妻を纏った肉体が、ただ只管に自らへと猛進する恐怖。鋼鉄が如きその肉体に、万が一にも触れでもしたならばただでは済まないだろう。この攻撃を受けたハンターが、次のラウンドで得るAPは半分となり、高度1に移動する。</p>				
3	任意の硬質化した腕	エンドレス・フィスト	任意のエリアと隣接した全てのエリア	特殊
<p>マテリアルによって硬質化した拳は、変幻自在に姿を変えるだけでなく、人の繰り出す拳技では辿りつけない衝撃を以てありとあらゆるすべてを粉碎する。この攻撃のダメージは、〔コング型の全損していない部位数〕点となる。</p>				
5	任意の硬質化した脚	フォールン・コング	任意の高度1つ	3
<p>コングが飛び上がった。その瞬間大気は震え、天候が意思を持ったかのように、ハンターへと苦難を及ぼすだろう。時機に稲妻にも似た蹴撃がハンターへと迫りくる。コングとは正に、ガイアが示す弱肉強食の化身に他ならない。この攻撃のダメージは軽減できない。</p>				

## □運用指針

コング型は、交通の要所や森林、孤島、時に人類の居住区などありとあらゆる場所に現れて自らのゾーンである雷鳴轟く山地を作りあげるコロッサルだ。彼らの習性は、自然的であるが、決して侮れる存在ではない。何故ならコング型は戦いによって自らを鍛え上げ成長する性質を持つ存在であり、その為には他のコロッサルや、ベース、R I A C Tの支部すら躊躇なく目標に据える。だが、時に彼らは相対した未熟なハンターを見逃し、人類に慈悲を見せることすらあるという。この習性の原理はいまだ解明されていない。

取得ExP

PC一人につき28点

## ◆耐久力 2人/3人/4人

部位	外殻	コア
頭	180/270/360	60/90/120
胴	200/300/400	350/525/700(M)
右肩	70/105/140(C)	60/90/120(S)
左肩	100/150/200 (G)	100/150/200(S)
硬質化した両腕×2	230/460/660 (露、G)	
硬質化した両脚×2	200/300/400 (露、S)	

## ◆牽制攻撃

名称	範囲	ダメージ
キングダム	任意のエリア1つの高度全て	特殊
<p>コングが吠えた瞬間、現れる楼閣が如き岩の檜は周囲の天候を悪化させる機能を持つ発信機というだけではない。彼らはこの檜を足場にして狡猾に獲物を追い詰めるだろう。ラウンド中、対象のエリアに「尖塔」を【設置】する。このコロッサルが「尖塔」のあるエリアを大攻撃の範囲に選択したとき、その攻撃を1度まで繰り返してもよい。</p>		
サンダークラップ	任意のエリア3つの高度全て	2
<p>天上から降り注ぐ雷鳴の列。正にコングとは天上の父祖たる轟雷の化身である。その檜は、ハンターを相手取るには余りにも過剰な暴力となる。ただ降り注ぐ檜に触れた瞬間、ハンターいえど無事は済まないのだから。</p>		